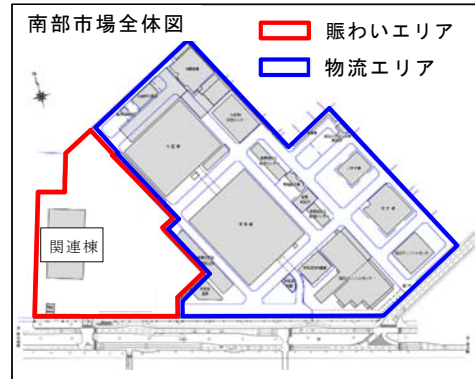


横浜南部市場にぎわい創出事業の取組状況について

横浜南部市場にぎわい創出事業は、卸・仲卸業者などが活用する「物流エリア」と区分けした「賑わいエリア」の用地の一部（約3.5万㎡）を、本市が公募により民間事業者に貸し付け、「食」を中心としたにぎわい創出を目的とする施設を整備・運営する事業です。

事業者の選定については、「横浜南部市場にぎわい創出事業者選定委員会（条例設置、委員7名）」の審議を経て、大和リース株式会社横浜支店を優先交渉権者と決定しました。

今後は、この事業者が整備・運営する施設により、にぎわい創出の相乗効果を生み出し、市場関係者の経営の安定化や市場全体の活性化を図り、将来にわたって「物流エリア」と「賑わいエリア」の事業者が共に繁栄できる施設運営を目指します。



1 選定過程

(1) 選定委員会の開催（平成29年3月24日付答申に伴い同日付で廃止）

- ア 開催回数 4回（平成28年3月～29年3月）、部会1回（平成29年3月）
- イ 審議内容 募集要項審議、最優秀提案の選定等
（審査の公平を期すため、各提案グループの名称を伏せて審査）

(2) 募集概要

コンセプト	① 「食」の拠点としてのイメージを活かす ② 市場ならではの「食」を堪能できる ③ 南部市場の魅力を発信する
土地貸付	・20年間の事業用定期借地（施設的设计・建設期間を含む）
施設内容等	・「食」要素（物販、飲食）必須（その他要素の併設可） ・新施設は関連棟、物流エリアと連携した賑わいを創出する

(3) 審査結果

4グループからの応募があり、選定委員会における提案内容の審査・答申を踏まえ、大和リース株式会社横浜支店を優先交渉権者として、決定しました。

2 優先交渉権者の提案概要

- (1) 主な用途：物販店舗・飲食店・サービス店舗
- (2) 延べ床面積等：22,077.22㎡、高さ12.50m（地上2階）、駐車台数775台
- (3) 年間利用者数：目標358万人
- (4) 年商：目標86億円（平均客単価：2,400円）

(5) コンセプト：食のライブマーケット

その地域・その季節ならではの「食」の魅力が**発見・体験・発信**できるとともに、市民にとっては日々の食卓が豊かになる場所、観光客にとっては地域や全国の食を求め訪れたい場所になることで、『地域と人が食でつながる交流拠点』を創造します。

施設のイメージ図

- ① **発見** <いつも新鮮な発見がある店舗群>
季節の食材や食のプロとの交流が購買意欲を誘います
- ② **体験** <五感で食を体験できるコンテンツ>
市場ならではの食にワクワクできる場を提供します
- ③ **発信** <地域の食と食文化の発信>
エリアの食の魅力を国内外にPRします



3 事業スケジュール（関係機関との協議状況により変更場合があります）

当面の予定は、国道357号線の渋滞緩和対策の関係機関協議や工事期間中の場内動線計画など、調整に時間を要する課題を解決後、優先交渉権者と定期借地契約を締結します。

平成29年	渋滞緩和対策等の確定後に定期借地契約締結（20年間）、設計
平成30年	建築工事着工（工事期間は約10か月）
平成31年	しゅん工・開業